

# 高木 毅復興大臣 本町を視察



高木毅復興大臣を案内する鈴木重男町長  
(くずまき高原牧場畜ふんバイオガスプラント)

## 地域資源を活かした 活気あるまちづくり高く評価

高木毅復興大臣が5月16日、本町のクリーンエネルギーや6次産業化の取り組みを視察するため来町しました。

くずまき高原牧場の畜ふんバイオマスプラントやミルクハウスのほか、くずまきワインを視察、鈴木重男町長が案内しました。

高木大臣は「過疎や高齢化、人口減少などは全国の地域が抱えている課題。葛巻町は地域資源を有効活用しながら課題解決に前向きに取り組む、活気あるまちづくりが進められている」と当町の取り組みを高く評価しました。

高木大臣は本町のほか、東日本大震災の津波で被災した久慈、野田、洋野、八戸の4市町村を視察しました。



くずまきワインでは、山ぶどうワイン生産の取り組みを視察しました

開会式で鈴木重男町長は「今年も多くの方々に参加いただき感謝します。今日一日、森林と親しみながら、森林の大切さを再認識する植樹祭にしていたきたい」とあいさつ。

盛岡広域振興局の高橋達也 副局長、鈴木俊一衆議院議員、平野達男参議院議員の祝辞の後、「みどりの文化賞」受賞を記念し、鈴木町長と来賓の皆さんがヤマザクラを植樹し、標柱を建立しました。

参加者は、県企業局などが提供したヤマツツジ300本

# 第17回 葛巻町植樹祭

「みどりの文化賞」受賞記念

「みどりの文化賞」受賞記念・第17回植樹祭(町産業振興協議会主催)は5月21日、森のこだま館などで行われ、町内の保育園児や小学生、林業関係者など約350人が参加し、森林を守り育てる意識を高めました。

とイロハモミジ50本を、森のこだま館周辺の町有林などに植樹。強い日差しが照りつける中、硬い土に苦戦しながらも、スコップやトウガを使って土を掘り、苗木に土や葉をしっかりとかぶせました。



1 「みどりの文化賞」受賞記念標柱を中心に記念撮影する鈴木町長と来賓の皆さん  
2 親子で作業する葛巻保育園の子どもたち 3 両手で丁寧に植樹する小屋瀬小の児童



みどりの文化賞を受賞した  
鈴木重男町長とC.W.ニコルさん

# みどりの文化賞を受賞

まちの誇りまたひとつ

県内初、自治体として全国2番目

地域資源とその機能を最大限に活用した地方創生の取り組みが評価され、本町が、国土緑化推進機構(東京都千代田区)が選ぶ「みどりの文化賞」を受賞しました。同賞は今年26回目で、県内からは初、自治体としては全国で2番目の受賞となります。

「みどりの文化賞」の表彰式は5月14日、東京都で開催された第26回森と花の祭典みどりの感謝祭式典(農林水産省、国土緑化推進機構など主催)の席上で行われました。全国から約500人が来場。感謝祭の名誉総裁を務める眞子内親王殿下がお言葉を述べられ、鈴木重男町長が同機構の佐々木毅理事長から表彰状を受け取りました。

同賞は、緑や水、森林に関する科学技術、文化活動などに功績のあった個人または団体を表彰するもので、今年の本町のほか作家のC・W・ニコルさんが受賞しました。



国土緑化推進機構の佐々木理事長から表彰状を受け取る鈴木町長(中央は感謝祭の総裁を務める眞子内親王殿下)

地域の文化を表す象徴であり、森林づくり、山づくりの取り組みは永続していかなければならない」と力を込めました。

